

R-5 : 専門会員セッション

開催日時・会場 9月20日(木曜日) 13:50-15:20 メインホール(B1階/1階)

Discussion Session/ 海外URA組織とのパネルディスカッション

今回の年次大会から、RA協議会国際担当専門委員会セッションが新たに設定された。セッション共通のテーマは、RA協議会と海外URA組織との連携である。その中で、R-2『EARMA(欧州のURA組織)との連携』、R-3『NCURA(米国のURA組織)との連携』、R-4『SRA International(北米等のURA組織)との連携』の各3セッションへは、海外URA組織からその代表が各一名ずつ(EARMAのNik Claesen氏、NCURAのGeorgette Sakumoto氏、SRA InternationalのJohn Westensee氏)招聘されている。

年次大会二日目、最終枠にスケジュールされた本セッションでは、これら海外からの招聘者が再度登壇、一堂に会してRA協議会との組織的な連携に向けた展望と課題についてディスカッションする。RA協議会側からは、登壇者として、高橋真木子副会長と三代川典史国際担当専門委員会座長が議論に加わる。冒頭で、先行して開かれた三つの各セッションのハイライト報告、およびそれに対するコメントや質疑応答を行った後、会場聴衆からのコメントや質問などの発言も募り、会場全体でのフリーディスカッションの展開を目指す。このパネルセッションのモデレーターを担当するのは、京都大学学術研究支援室シニアURAを経て、現在は同大学の国際広報室の室長として活躍中の今羽右左 デイヴィッド 甫氏である。

オーガナイザー



三代川 典史 : 広島大学・研究企画室・
シニア・リサーチ・アドミニストレーター

在東京オーストラリア大使館教育部勤務の後、修士号をロンドン大学(教育政策学)、シンガポール国立大学(公共政策)で獲得。米国ペンシルベニア州立大学でPh.D.(高等教育管理)を取得後、同大学グローバル事業本部で本部長付研究員として勤務。2014年より広島大学研究企画室に所属し、研究活動の国際化推進を担当。ライティング・センター、国際科学広報、国際会議開催支援等の運営を統括。2017年よりRA協議会国際担当専門委員会座長。

司会者



今羽右左 デイヴィッド 甫
David Hajime Kornhouse : 京都大学・国際広報室・室長
Global Communications Director

1967年、米ハワイ州生まれ、父は米国人(大学研究者)、母は日本人。母国語は英語。日本語、ドイツ語を得意とする。リード大学(物理学専攻)卒業。国際大学(国際関係学)で修士取得後、政策アナリスト、米國務省外交官、日本テレビワシントン支局プロデューサー、京都大学 物質-細胞統合システム拠点国際広報・企画担当、京都大学学術研究支援室シニアURAなどを経て、2015年より京都大学 国際広報室室長。

R-5: 専門会員セッション

講演者

Nik Claesen : EARMA (European Association of Research Managers and Administrators)
Managing Director



With EARMA he works to improve the quality of research support throughout Europe by creating a network for professional development, best practice exchange and information exchange. He is a Belgian national living in the greater Brussels area and passionate about research support. He has a background in research administration and more specifically in EU funded research for Brussels University (VUB) and bid consulting for Imperial College London. He holds masters degrees in management and history.

Georgette Sakumoto : University of Hawai'i Office of Research Services
Senior Contracts and Grants Specialist [also, President of the National Council of University Research Administrators (NCURA)]



Georgette has been working for the University of Hawai'i since 1979. She started in the Institute for Astronomy working as an account manager in a Specialized Service Center. Currently, she is a Senior Contracts and Grants Specialist in the Sponsored Program Office specializing in the pre-award and non-financial post-award area. She joined NCURA in 1990 and was elected as the National Secretary from 2012-2013. She received the Distinguished Service Award from NCURA in 2009 and currently she is serving as the 2018 President of NCURA.

John Westensee : Aarhus University AU Research Support and External Relations
Deputy University Director [also, Former President of the Society of Research Administrators (SRA) International]



SRA Internationalの前会長(2014-2016)。デンマークのURA組織であるDARMAの創始者でもある。オーフス大学で研究支援部署が2002年に立ち上げられた際の責任者で、現在は同大学の研究支援・渉外担当部の部長を務めている。約100名から構成されるこの部署は、研究資金、研究戦略、人材育成・採用、イベント開催・広報、産学連携や技術移転を担当している。research administrationに関わる自身の27年間の経験は、実務、運営、戦略、執行部などのあらゆるレベルに及んでいる。

高橋真木子 : 金沢工業大学・イノベーションマネジメント研究科 教授



東工大、東北大、(独)理化学研究所等の在籍約20年間に、産学連携、技術移転、研究推進支援に携わる。RMAN-J設立準備委員長を担い創設より副会長を務める。NISTEP、GRIPS客員研究員、東大政策ビジョン研究センター客員研究員、中央教育審議会委員、産業構造審議会委員、JSTプログラムオーガナイザー等を兼務。専門分野 研究開発マネジメント、技術・知識移転など。東北大学大学院修了、博士(工学)

三代川 典史 : 広島大学・研究企画室・
シニア・リサーチ・アドミニストレーター



在東京オーストラリア大使館教育部勤務の後、修士号をロンドン大学(教育政策学)、シンガポール国立大学(公共政策)で獲得。米国ペンシルベニア州立大学でPh.D.(高等教育管理)を取得後、同大学グローバル事業本部で本部長付研究員として勤務。2014年より広島大学研究企画室に所属し、研究活動の国際化推進を担当。ライティング・センター、国際科学広報、国際会議開催支援等の運営を統括。2017年よりRA協議会国際担当専門委員会座長。